

### 3.3. 臼ヶ峰往来うす みねおうらい

選定箇所：日名田（富山県氷見市）～臼ヶ峰～下石（石川県宝達志水町）

概要：富山県氷見市日名田ひなたから臼ヶ峰を越え、石川県宝達志水町下石さがりしへ通じる臼ヶ峰往来は、古代から越中と能登を結ぶ幹線道路である。江戸時代には、幕府の巡見使が通った官道で、御上使往来ごじょうしおうらいとも呼ばれた。奈良時代、越中国守大伴家持すいこが出挙巡行のために越えた「之乎路しおじ」がこの臼ヶ峰往来と考えられる。中世には木曾義仲しおやまの志保山合戦や、承久の乱、観応の擾乱など戦乱の舞台ともなり、越後に配流された親鸞聖人にまつわる伝説も残る。



臼ヶ峰往来（石川県宝達志水町）



臼ヶ峰往来（富山県氷見市）